

集会スケジュール

8/4 (日)

9:30~10:00 受付
10:00~10:45 開会集会
10:50~12:30 記念講演
演題 「ナガサキを最後の被爆地に
核廃絶をめざして行動しよう」
講師 (公財)長崎平和推進協会・被爆体験講話者
城臺 美彌子 (じょうだい みやこ)様

12:30~13:30 昼食 (分科会打ち合わせ・レポーターはご参加ください)
13:30~17:30 分科会
18:00~20:00 夕食交流会

8/5 (月)

09:00~09:30 受付
09:30~11:30 分科会
11:50~12:30 閉会集会

参加費及び申し込み方法

【参加費】 4,000 円 (別途 8/4 昼食代 1,000 円 : 夕食交流会代 6,000 円)

【申し込み方法】

① 添付の「参加申込書」を使い、**長崎集会現地実行委員会**にお申し込みください。

E-mail : naga-kks@fsinet.or.jp

- ② 申込書は、プルダウンメニューから選択してください。
- ③ 分科会は、会場と人数配分の関係から必ずしも希望通りとならない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ④ 保育の受付をいたします。詳細は現地実行委員会へ直接ご相談ください。
- ⑤ 宿泊について、セントヒル長崎は部屋数に限りがあるため、今回斡旋は致しません。各自でお早めに手配をお願いします。
- ⑥ メールアドレスは、連絡のとれるものを必ずご記入下さい。

最終締切 7月24日(水) 厳守

※ 集会の申込みにより取得いたしました個人情報は、「全教個人情報保護方針」に従い適正に管理運用いたします。

2019

—第29回

全国学校事務研究集会

■全国のみなさまへ集会参加のご案内■



長崎集会開催要項

集会
テーマ

- ・語り合おう子どもの未来！
- ・育てよう民主教育！
- ・つくりだそう私たちの学校事務！！

日程：2019年8月4日(日)～8月5日(月)

会場：セントヒル長崎 (長崎市筑後町4番10号【☎095-822-2251】)

全国の学校事務職員のみなさん、新年度を迎え多忙な中、日々のご奮闘に対し深く敬意を表します。

今年、全国学校事務研究集会は、74回目の「原爆の日」を前に夏の長崎で迎え、初の九州開催となります。集会では、これまで「学校づくり」「子どもたちの就学保障」「学校事務職員の任務」等について学習や交流を深めてきました。また、学校で働く仲間の労働条件などの諸要求についても大切にしながら実践やとりくみを積み重ねています。国や自治体が教育政策として押しつけてくる教育改悪、政令市の税源移譲に伴う教育の後退に反対するたたかいなどを含め、民主的學校づくりや地域での運動を話し合い、論議する場として位置づいています。

また、経験年数や校種を越えて仲間が集い、日頃の思いや悩みを交流し、学習と実践の交流を深め、お互いに元気をもらい明日の運動につなげる機会でもあります。とりわけ近年では全国から若い仲間が継続的に参加し、集会を盛り上げています。

すべての子どもたちが安心して学べる権利を保障し、ゆきとどいた教育をすすめるために大いに語り合いましょう！ ぜひとも多くのみなさんの参加を呼びかけます！！

2019年4月1日

全国学校事務研究集会推進委員会・全日本教職員組合事務職員部常任委員会

記念講演 「ナガサキを最後の被爆地に 核廃絶をめざして行動しよう」

講師：城臺 美彌子 様 (80 歳)

1998 年「長崎の証言の会・長崎平和推進協会入会」

2014 年「長崎平和祈念式典で被爆者代表『平和の誓い』

平和とは—— なぜ原爆は長崎に落とされたのか 戦争にまきこまれた子どものくらし

恐ろしい原子爆弾、原発、放射能の被害はアメリカ・フクシマでも

私の被爆と長崎を最後の被爆地に 今日の問題と明日の平和を考える

第 1 分科会 「学校事務職員のしごとと役割」

ゆきとどいた教育と子どもたちを主人公にした学校づくりをすすめるため、学校事務職員が果たすべき役割や職務をどのように考えますか？ 学校で働いていることの意義や悩みを共有し、各地の実践をもとに交流を深めましょう。

討議の柱

- ① 民主的な学校づくりをすすめるために、学校事務職員の役割について考える。
- ② ゆきとどいた教育をすすめるため、地域・保護者との協同のとりくみを考える。
- ③ 子どもが安心して学べるよう、子どもの要求を実現するための実践などを交流し討論を深める。

レポートのキーワード（参考）

- 学校事務職員としての生きがい働きがい
- 学校事務職員歴〇年目の私の悩み
- 事務室からの発信（地域、保護者、教職員）
- 同僚性と職場づくり
- 地域・保護者とのかかわり
- 任務論
- 子どもとのかかわり（子どもアンケートのとりくみ、児童会・生徒会との協同）

第 2 分科会 「子どもの学習権を守るための私たちのとりくみ」

子どもたちの未来を守るため「教育費無償」の観点から学校でのとりくみを交流します。学校予算や補助金などの公費、教材費や旅行積立金などの私費に関する問題等、財政面を中心課題に日常的な実践を交流し討論を進めます。

討議の柱

- ① 学校財務に関わる中で、何にこだわって、そして子どもたちや保護者の願いとどのように向き合っていくかを考える。
- ② 子どもの学習権と学校財務の民主的運営はどうつながっているかを考える。
- ③ 貧困と格差が広がるなか、子どもの学習権を守るとりくみを検討する。
- ④ 学校事務職員から教職員へ、とりくみの広がりについて考える。

レポートのキーワード（参考）

- 学校徴収金（預り金）問題
- 保護者負担金の実態や軽減のとりくみ
- 学校財務の民主化に向けたとりくみ
- 予算委員会の実践
- 子どもたちが安心して学び続けられるための「幼・保・小・中・高・特」の連携を考える

第 3 分科会 「ゆきとどいた教育をめざす自治体へのとりくみ」

「教育費無償」を基本理念として、子どもの学習権を保障するとりくみ、また、各種制度の拡充に向け、自治体要請や予算獲得運動のとりくみを交流し討論を深めます。

討議の柱

- ① 自治体財政の悪化や消費税増税、生活保護制度の改悪に伴い、就学援助・奨学金・教育扶助制度等はどうに変化しているのか、実態を明らかにし制度拡充の論議を深める。
- ② 子どもの教育水準を高めるため、無償教育を実現させるために教育予算の増額をめざすとりくみをどうすすめるのか論議を深める。
- ③ 高校授業料不徴収廃止・所得制限導入に伴い見えてきた状況を的確に把握し、状況や無償教育へ向けたとりくみ、実践について交流・論議を深める。

レポートのキーワード（参考）

- 学校統廃合や小中一貫教育導入に伴う教育条件の変化
- 教育扶助（給付内容・自治体格差）
- 就学援助（認定基準、給付内容・時期、申請方法）
- 情報公開と徴収金の可視化
- 奨学金の拡充（給付型の拡充と貸与型のリスク）
- 教育予算増額、無償教育実現への運動

第 4 分科会 「仲間とつながり、安心して働き続けるために」

職場の労働条件や任用の実態、賃金・人事評価制度の実態などを交流し、共同実施や教育事務所の廃止、共同学校事務室の制度化による弊害などを明らかにします。また、安心して働ける職場づくりや組織拡大などについて、職場や地域でのとりくみを交流し討論します。

討議の柱

- ① 労働条件の実態や公務員制度改悪による影響と課題を議論する（賃金や定数、権利等）。
- ② 職場や地域などで、いきいきとした組合活動の広がりや運動の成果と教訓を交流する。
- ③ 「任務論」を基に国庫負担法上の学校事務職員の職務を守るためのとりくみを議論する。

レポートのキーワード（参考）

- 賃金制度（評価賃金、格付け）
- 組合運動（組織拡大強化、地域協同）
- 労働条件（共同実施、センター化、定数）
- 権利獲得（休暇等）
- 労働環境（労働安全衛生、長時間過密労働、36協定）
- 人事評価制度
- 権限移譲（職の改悪、教育水準の後退）
- 臨時職員問題